

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立深江小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立深江小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は学校教育目標を「心豊かに力強く生きぬく子ども」の育成とし、サブタイトルとして「夢や志を持ち、一人ひとりが輝く学校」とし、確かな学力と健やかな心身を育む教育活動に取り組んできた。令和 3 年度は研究主題を「自分の思いを豊かに表現できる子どもの育成」とし、一人ひとりが互いに学びあえる授業をめざして、授業改善に取り組んできている。

安全・安心については、道徳と人権尊重の精神の涵養に取り組むとともに、郷土学習を通じて「深江」を愛するとともに誇りに思う自尊感情の醸成を図ってきた。社会性の確立については、規律ある集団行動を通じて規範意識を育成し、生活指導ではいじめや暴力を許さない教育活動を徹底してきた。その結果、いじめの発生件数や暴力発生件数は微々たるものである。しかし、不登校については、新型コロナの影響が増加傾向にあり、こどもサポートネットと連携しながら解消に向けて取り組んではいるが、まだ課題である。

学力の向上については、児童の実態に合わせ、少人数・習熟度別授業などのきめ細かい指導に取り組んできた。一人一台端末の活用を図ることや、オンライン授業に取り組むなどしているが、まだ十分とは言えない。実践事例集などを活用しながら個別最適な学びの充実に向けて取り組んでいきたい。学力学習状況調査や大阪市学力経年調査の結果は年によって上下はあるが、長い目で見ると上昇傾向にある。図書館をリニューアルし、読書活動に力を入れてきた結果、課題であった国語科（言語認識）については一定改善が見られた。

体力の向上については、体育科の授業改善や体育行事を工夫して実施したことから全国体力・運動能力、運動習慣調査については目標を達成することができた。しかし、コロナ禍のため、児童の運動機会が少なくなっており、運動の習慣化については課題となっておる。

中期目標 (令和 7 年度末までの目標)**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和 3 年度末より減少させる。
- ICT 等を活用して、不登校児童・保護者と学校がつながる回数を令和 3 年度末より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上とする。
- 体力テストの「ふだんの一週間で、体育の授業以外で運動をすることが一日 60 分未満である」と回答する児童の割合を 70%以下にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内アンケートで「学校の授業では、学習者用端末を活用することで、理解を深めることができた」と回答する児童の割合を、3年生以上で70%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- （１） 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を８１％以上にする。

（令和６年度 ８１．１％）

- （２） 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

（令和６年度 ３．１４％）

- （３） 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

（令和６年度 ２５．０％）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- （１） 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を７５％以上にする。

（令和６年度 ６９．８％）

- （２） 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を３５％以上にする。

（令和６年度 ３２．１％）

- （３） 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を７５％以上にする。

（令和６年度 ７２．０％）

【学びを支える教育環境の充実】

- （１） 授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の５２％以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

（令和６年度 ー）

- （２） 年次有給休暇を１０日以上取得する教職員の割合を昨年度と同程度にする。

（令和６年度 １００％）

(様式2)

大阪市立深江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 (1) 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないこと だと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 81%以上にする。 <div>(令和6年度 81.1%)</div> (2) 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 <div>(令和6年度 3.14%)</div> (3) 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <div>(令和6年度 25.0%)</div>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全安心な教育環境の充実】 ①いじめアンケートや学習者用端末の相談機能を使って、いじめの実態把握を行い、的 確な判断を図る。 ----- 指標 ・6月、12月、2月にいじめアンケートを実施し、スクールライフノートの相談機能 を毎日チェックする。アンケートで「ある」と回答した児童や相談をしてきた児童 への聞き取りを100%行い、解決にむけて対応する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ②電話連絡、家庭訪問、別室登校、オンラインでの授業参加等を行ったり、他機関と連 携したりして、学校全体で不登校児童への対応を図る。 ----- 指標 ・昨年度30日以上欠席した児童の出席日数を前年度より改善する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ③区役所（子育て支援）や子どもサポートネット、スクールソーシャルワーカー、スク ールカウンセラーと連携や相談を行ったり、児童理解連絡会等を計画的に実施したり して、不登校や問題行動等の事象の早期発見と早期対策を講じる。	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、関係諸機関と情報交換会や連絡会を実施する。 ・スクリーニングシートや「いいところみつけ」への記入を通して、多面的に児童理解を深め、年10回の児童理解連絡会で情報を共有する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>④地域や関係諸機関と連携したり、安全教育を計画的に実施したりして、防災・減災教育を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に備え、地域防災訓練を年度当初に実施する。避難訓練（引き渡し訓練を含む）を4回以上実施する。警察と連携を図り防犯訓練を1回実施する。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>⑤廊下の歩き方や登校時刻を守り、全員が安全で気持ちよく学校生活が送れるように、全教職員で取り組んでいく。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査や学校アンケートで「学校のきまりを守っていますか」に対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を昨年度より向上させる。（昨年度41.5%） 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>⑥自尊感情や自己有用感を高めるために、道徳・人権教育を年間計画に従って実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査や学校アンケートで「自分には、よいところがあると思う」に対して肯定的に回答する児童の割合を昨年度より向上させる。（昨年度77.6%） ・学期に1回道徳の授業の振り返りを実施する。 ・人権教育年間計画を立てて実施し、人権教育報告会を1回行う。 	
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析（中間評価）	
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立深江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 (1) 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 <div style="text-align: right;">(令和6年度 69.8%)</div> (2) 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。 <div style="text-align: right;">(令和6年度 32.1%)</div> (3) 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。 <div style="text-align: right;">(令和6年度 72.0%)</div>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ①教員全員が研究授業や公開授業を実施することや、研修の充実を図ることで指導力の向上をめざす。	
指標 ・年10回以上の研究授業と年5回以上のメンター研修会を実施する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ②授業中には、話し合い活動を必ず取り入れ、協働的な学びの場面を取り入れる。	
指標 ・教職員アンケートで「週1回、授業中に話し合い活動を取り入れる」に肯定的に回答する教職員の割合を85%以上にする。	
取組内容③④⑤ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ③モジュールの時間に外国語活動を週に2回実施する。 ④1, 2年生には外部講師による外国語活動を、4年生以上には英検 Jr. を実施する。 ⑤宝栄小学校との英語交流を通して小小連携を図る。	

<p>指標</p> <p>・児童アンケートで「英語の授業で学習したことを使って、いろいろな人と話してみようと思いますか。」に肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>⑥なわとび週間やかけあし週間を計画的に実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童アンケートで「休み時間に体を動かしていますか。」に肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>⑦学期ごとに健康週間を設け、規則正しい生活習慣の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童アンケートで「早寝早起きや朝ごはんを食べる。運動するなど健康に気をつけた生活をしている」に肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析（中間評価）	
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立深江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 (1) 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の52%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 (令和6年度 ー) (2) 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を昨年度と同程度にする。 (令和6年度 100%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ①学習者用端末を活用する機会をあらゆる場面で多くとるように工夫し、1日に1回以上を目標とする。 ----- 指標 ・心の天気を毎日1回入力する。 ・児童アンケートで「学習者用端末を1日1回以上活用している」と肯定的に回答する児童の割合を昨年度と同程度にする。(令和6年度 84%)	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ②年休を10日以上取得する。 ----- 指標 ・毎月1回程度ゆとりの日を設ける。 ・長期休暇だけでなく、休める時は積極的に年休・時休を取得するようにする。 ・教員への聞き取り調査で「年休を10日以上取得した」と回答する割合を同程度にする。(令和6年度 100%)	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ③図書館等の整備・蔵書の充実を図り、地域・図書館・家庭などと連携した読書活動の推進、東成区の読書活動推進事業「スクールイーライブラリー」の活用を通して、児童の読書への意欲を高める取り組みを継続する。 ----- 指標 ・読書カード目標達成児童の割合を昨年度と同程度に維持する。(スクールイーライブラリー含む) (令和6年度 73%)	

<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域と連携、協働した教育の推進】</p> <p>④深江の伝統工芸菅細工に触れたり、親しんだりする活動を通して郷土を大切に思う心情を育てる。</p> <p>1 年 入学式でのプレゼント「菅笠キーホルダー」で菅笠を知る。</p> <p>2 年 町たんけんで「深江郷土資料館」の見学をする。 国語科で「かさこじぞう」の学習をする。</p> <p>3 年 菅を植える体験活動をする。</p> <p>4 年 菅を刈り、保護者と共に菅リースを作る。</p> <p>5 年 「深江郷土資料館」の見学し、地域の方から「菅笠」の歴史について話を聞く。</p> <p>6 年 修学旅行で「伊勢神宮式年遷宮館」を見学し、深江の歴史を学ぶ。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童アンケートで「深江の伝統工芸菅細工に触れたり、深江の歴史について知ったりすることができた」に肯定的に回答する児童の割合を昨年度と同程度とする。 (令和 6 年度 89%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析（中間評価）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	